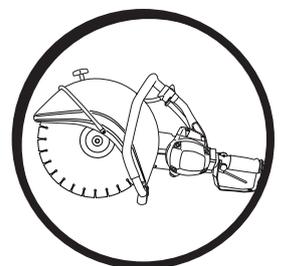


取扱説明書

K30 K40



この説明書をよく読み内容をしっかり把握したうえで、パワーカッターを使用するようにしてください。

Japanese

シンボルの説明

シンボルの説明

警告！パワーカッターは危険を伴う道具です。不注意な使用や不適切な使用によって、使用者やその他の人々が重傷や致命傷を負う危険性があります。



この説明書をよく読み内容をしっかり把握したうえで、パワーカッターを使用するようにしてください。



常に下記のものを着用してください。

- 承認されたヘルメット
- 承認されたイヤーマフ
- 保護ゴーグルまたはバイザー
- 切削によって、吸い込むと気道傷害の原因となる多量の粉塵が発生します。用途に合った呼吸マスクを使用してください。常に換気を十分におこなってください。

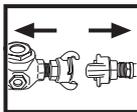


この製品はEC規格適合製品です。



パワーカッターに付いている他のシンボル/銘板はそれぞれの市場地域に向けた特別な認定条件を示します。

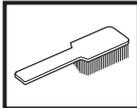
パワーカッターの点検やメンテナンスを行なう前には必ず圧縮空気ホースを取り外してください。



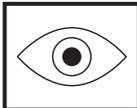
常に承認された保護手袋を着用してください。



定期的な清掃が必要です。



目視点検。



保護ゴーグルやバイザーを必ず着用してください。



目次

目次

シンボルの説明

シンボルの説明.....2

目次

目次.....3

各部名称

パワーカッター各部の名称.....4

安全注意事項

新しいパワーカッターをお使いになる前に.....5

身体保護具.....5

パワーカッターの安全装置.....5

パワーカッターの安全装置の点検、メンテナンス、サービス...6

一般的な安全対策.....7

作業に関する一般的な注意事項.....7

カッティングブレード.....9

組立

組立.....11

カッティングブレードの取付.....11

ブレード用ガード.....11

始動と停止

始動と停止.....12

メンテナンス

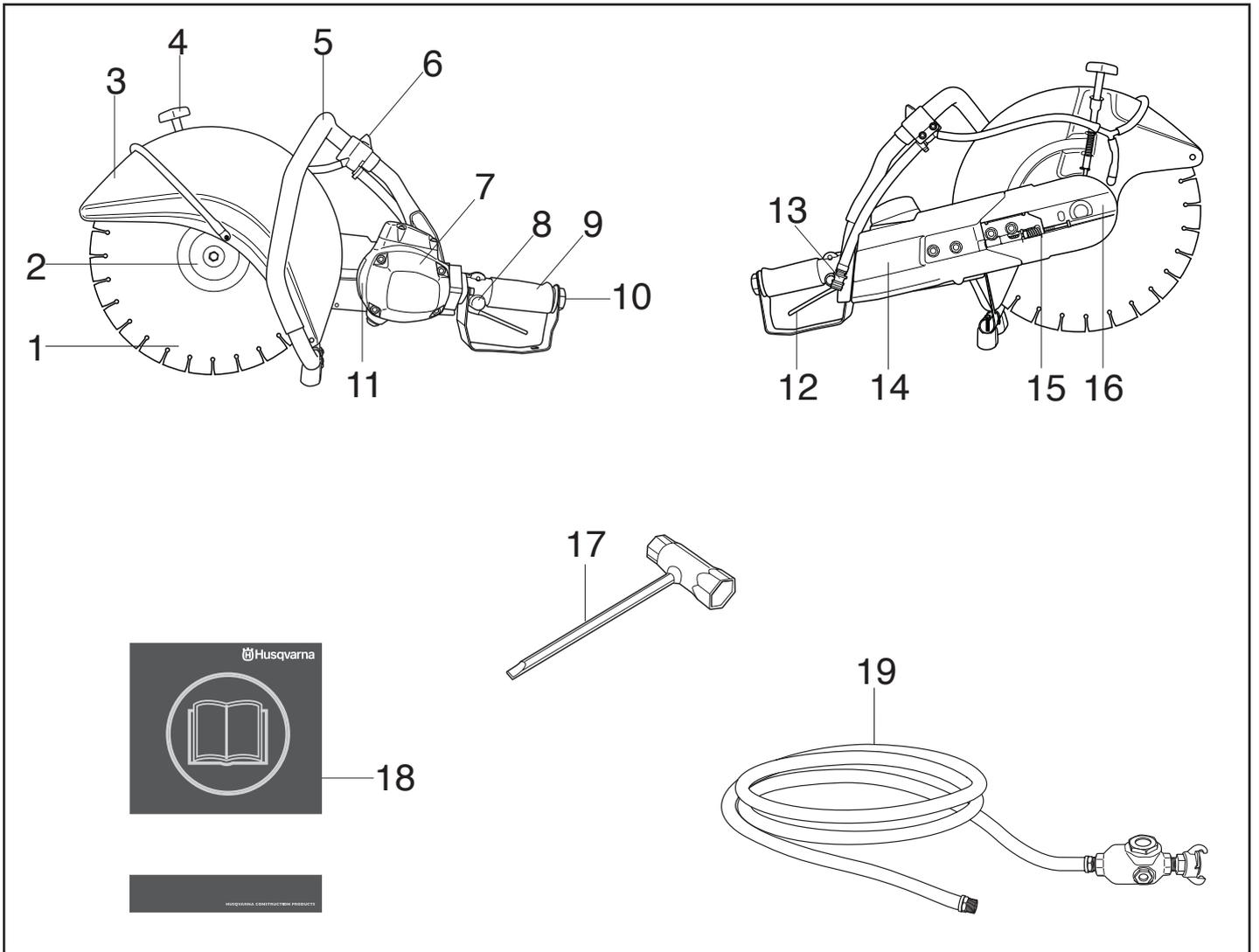
メンテナンス.....13

主要諸元

ガイドバーとチェン.....15

EC適合宣言.....15

各部名称



パワーカッター各部の名称

- | | | | |
|----|------------|----|-------------|
| 1 | カッティングブレード | 11 | 定格銘板 |
| 2 | フランジワッシャー | 12 | スイッチ |
| 3 | ブレード用ガード | 13 | フィルター付き水道接続 |
| 4 | ガードキャッチャー | 14 | ベルトガード |
| 5 | 前ハンドル | 15 | ベルトテンショナ |
| 6 | 水道栓 | 16 | カッティングアーム |
| 7 | エアーマーター | 17 | コンビレンチ |
| 8 | スイッチロック | 18 | 取扱説明書 |
| 9 | リヤハンドル | 19 | 圧縮空気ホース |
| 10 | 圧縮空気ホース用接続 | | |

安全注意事項

新しいパワーカッターをお使いになる前に

- 本機は、フリーハンド切削用の空圧操作型パワーカッターです。パワーカッターは、0.7MPaの空圧でK40用に2.8~3.5 m³/分、K30に2.0~2.4 m³/分の空気量を供給できるコンプレッサに必ず接続してください。
- 「取扱説明書」をよく読んでください。
- カuttingブレードの取り付け状態を点検する。「組立」の章を参照してください。
- 圧縮空気ホースが正常に機能し、良い状態であることを確認してください。

パートナー社の代理店にパワーカッターを点検、重要な調整、修理を依頼してください。



警告! いかなる状況下でも、メーカーの許可なしに機械のオリジナルのデザインを変更してはいけません。常に純正の予備部品をご使用ください。許可なく変更したり、純正でない付属品を使用すると、使用者やその他の人が重傷を負ったり、死亡したりする原因になります。



警告! 素材によっては、切削や粉碎、穴あけ、研ぎ、形成作業により、有害な化学物質を含む粉塵や気体を生じることがあります。加工対象の素材の性質を理解し、適切な防じんマスクや呼吸用保護具を着用してください。



警告! 不注意な取扱や誤った取扱をすると、パワーカッターは危険であり、重傷や時には致命傷の原因となります。本書をよくお読みになり、内容を理解することが非常に重要です。

ハスクバーナ・コンストラクション・プロダクツは継続的に製品の開発をおこなっています。ハスクバーナは設計や外見などを予告なく変更する権利を有し、また、デザイン変更をそのつど発表する義務を負いません。

本書の情報およびデータのすべては、本書の印刷時に有効なものです。

身体保護具

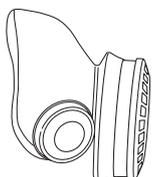


警告! パワーカッターを使用するときは常に、認定された身体防護具を着用しなければなりません。身体防護具を着用したからといって、けがの危険性をなくすことはできませんが、事故が起こったときけがの程度を軽減することができます。身体保護具の選択に関しては、販売店にお尋ねください。

- 保護ヘルメット
- 防音マフラー
- 保護ゴーグルまたはバイザー



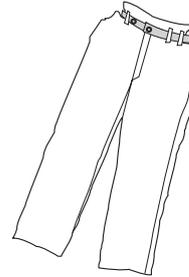
- 呼吸マスク



- 高耐久性で、握りやすい保護手袋。



- 体の動きを制限することがなく、かつ体のサイズに合った丈夫で快適な服装。



- 切断材料に応じて脚部保護の使用。
- つま先が金属製で、スリップ防止底のブーツ。



- 救急箱は常に近くに用意しておきます。



パワーカッターの安全装置

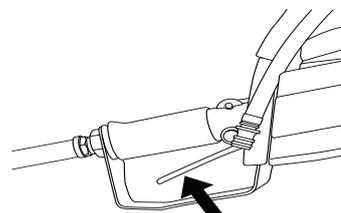
このセクションでは、パワーカッターの各種安全装置とその目的について、また、各安全装置が正しく機能するための点検やメンテナンスの方法について説明しています。安全装置がご使用のパワーカッターのどこに配置されているについては、「各部名称」の章を参照してください。



警告! 安全装置に欠陥のあるパワーカッターは、決して使用しないでください。この項に記載された説明に従って点検、メンテナンス、サービスをおこなってください。

スイッチ

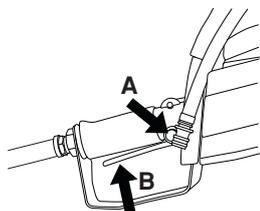
スイッチは、パワーカッターの始動と停止に使用します。



安全注意事項

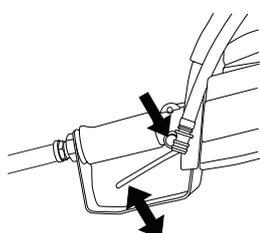
スイッチロック

スイッチロックはスイッチが間違っても作動しないように設計されています。ロック (A) を押し、スイッチ (B) が解除されます。



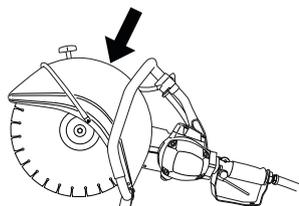
スイッチが押されている間は、スイッチロックは押されたままの状態を保ちます。

ハンドルの握りを緩めると、スイッチとスイッチロックの両方を解除します。この動作は、2つの独立したリターンスプリングシステムが制御しています。この位置で、パワーカッターを停止しスイッチをロックします。

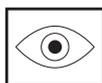


ブレード用ガード

カッティングブレードの上にガードが取り付けられています。ガードはブレードや切断小片が作業者に向かって飛ぶのを防ぐためのものです。



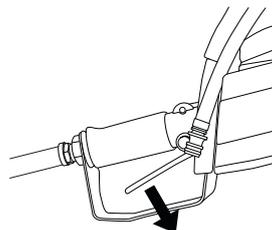
パワーカッターの安全装置の点検、メンテナンス、サービス



警告！パワーカッターに関するすべてのサービス、修理をするには、特別な研修が必須です。パワーカッターの安全装置には、特にこのことが該当します。ご使用のパワーカッターに、1つでも下記の点検項目を満たさない点がある場合は、サービス代理店に連絡してください。弊社の製品は、購入後は専門家による修理とサービスが受けられることが保証されています。購入した小売店がサービス代理店でない場合は、最寄のサービス代理店の所在を確認してください。

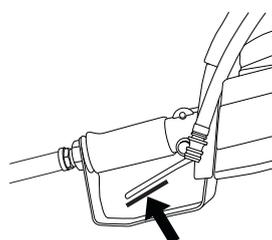
スイッチの始動と停止機能の確認

パワーカッターを始動し、スイッチを解放してからパワーカッターとブレードが停止することを点検します。

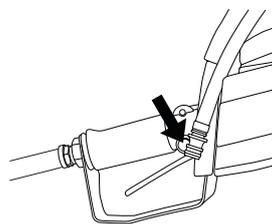


スイッチロックの点検

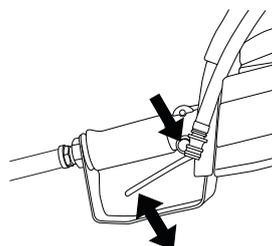
スイッチロックが元の位置のときにスイッチがロックするか確認します。



スイッチロックを押して、解除したときにスイッチが元の位置に戻ることを確認します。



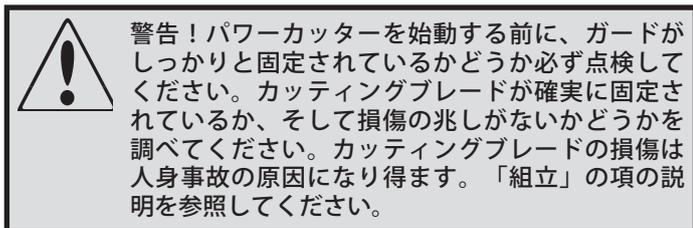
スイッチとスイッチロックが自由に動くことと戻りバネの機能を確認します。



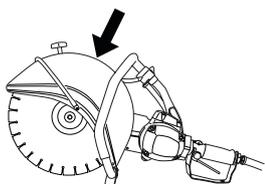
パワーカッターを始動し、スイッチを解放してからパワーカッターとブレードが停止することを点検します。

安全注意事項

ブレードガードの点検



ガードに損傷がないか、ヒビや明らかな欠陥がないかどうかを点検します。



一般的な安全対策

- パワーカッターは、石造物などの硬い材料を切るように設計されています。柔らかい物質を切削する時にはキックバックが起きる危険性が増すことに注意してください。「キックバックを避ける方法」の項の説明を参照してください。
- パワーカッターをご使用になる前に、本書の内容をすべてお読みください。「パワーカッター安全装置の点検・メンテナンス・サービス」の項に記載された事項だけでなく、すべてのサービスは必ずトレーニングを受けた専門家が行ってください。
- 疲れている場合や、アルコールを飲んだ場合、または、視覚、判断力、自身の動きのコントロールに影響をおよぼす薬を服用しているときは、パワーカッターを絶対に使用しないでください。
- 身体保護具を着用してください。「身体保護具」の項の説明を参照してください。
- 元の仕様に変更が施された機械は、いかなる変更であっても絶対に使用しないでください。
- 故障したパワーカッターは絶対に使用しないでください。このマニュアルに記載された説明に従って点検、メンテナンス、サービスをおこなってください。メンテナンスとサービスには研修を受けたサービス専門家によっておこなわれるべきものがあります。「メンテナンス」の項の説明を参照してください。
- パワーカッターを人に貸すときは、借りる人が「取扱説明書」の内容を理解したことを確認してから貸してください。

搬送と保管

カッティングブレードを付けたままパワーカッターを保管したり、運搬しないでください。

パワーカッターは、子どもや不適格者が触れることができないように鍵をかけて保管します。

使用後はすべてのブレードを取り外し、注意してブレードを保管してください。カッティングブレードは乾いた氷結しない状況下で保管してください。

研磨用のディスクには特別な注意が必要です。研磨用のディスクは必ず水平な平面に保管してください。ブレードにバックアップパッドが付いている場合は、スペーサーを使ってブレードを平らに保つようにしてください。研磨ディスクを湿気のある場所で保管すると、バランスが悪くなり、負傷の原因になります。

新品のブレードは、運搬や保管による損傷がないか点検してください。

作業に関する一般的な注意事項



警告！この項ではパワーカッターを使うための基本的な安全規則を説明します。記載された情報は、専門の技術や経験に相当するものではありません。安全性に懸念が生じたら、作業を停止し、専門家のアドバイスを受けてください。販売代理店、サービス店、または経験の豊富なパワーカッターユーザーにご相談ください。確信のないときは作業をおこなわないでください！

基本的な安全規則

- 周囲を確認します：
 - 人々や動物、あるいはなにか他の事物によって、パワーカッターの制御に悪影響がおよばないようにします。
 - 上記の事物がカッティングブレードに接触しないことを確認します。
- 濃霧、降雨、強風、厳しい寒さ等の悪天候下での機械使用はさけてください。悪天候下での作業は滑りやすい地面などで、疲れやすく危険な状況におちいることがあります。
- パワーカッターを使って作業を開始するのは、必ず作業場が整い安定した足場が準備できてからにしてください。なにか予期せぬ動きをする障害物が回りにないか警戒してください。切削中に材料が動きやすくなり落下することのないように注意してください。労働災害の原因になることがあります。傾斜地で作業をするときは、十分な注意が必要です。
- 衣類や身体が回転するカッティング装置に接触することがないことを確認してください。
- カッティング装置が回転しているときは、安全距離を確保してください。
- パワーカッターが作動しているときには必ず、カッティング装置用ガードを取り付けてください。
- 作業場の視界が十分に明るくなっており、安全な作業環境であることを確認してください。
- カッティング装置が回転しているときは、パワーカッターを動かさないでください。
- 常に安全かつ安定した姿勢でパワーカッターを使用していることを確認してください。
- 配管や電気ケーブルが、切断作業場に配置されていないことを確認してください。
- パワーカッターを始動する前に、圧縮空気ホースの損傷をさけるたその気ホースが使用者の後ろに位置していることを確認します。

安全注意事項

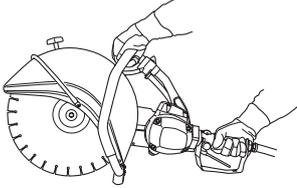
鋸断



警告！パワーカッターの安全距離は 15 メートルです。作業現場に関係者以外の人や動物がいないことを確認してください。作業場所にある障害物をクリアし、足場を確保してから切断作業を開始してください。

はじめに

- パワーカッターは最高速度で切断を開始してください。
- 常に、パワーカッターを両手でしっかりと握ってください。親指と4本の指で取り囲むようにしっかりハンドルを握ります。

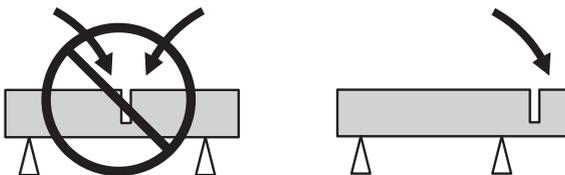


警告！振動に過剰にさらされると、血行障害を患っている人は血管や神経を損なう可能性があります。過剰に振動にさらされたことが原因で身体に症状が出たと考えられる場合は、医師の診察を受けてください。症状例には、しびれ感や、感覚の欠如、むずむず感、ちくちくした感覚、痛み、体力の減少、皮膚の色や表面の変化などがあります。これらの症状は、一般に指や手、手首に現れます。

切断のテクニック

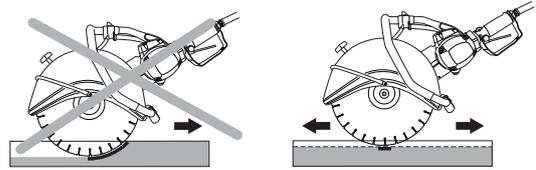
次に説明するテクニックは一般的なものです。それぞれの切削タイプに関してはブレードの詳細を参照してください。たとえば、ダイヤモンドブレードの送り圧力は研磨ディスクより少なくなっています。

- 切断対象物は、次に何が起こるか予想でき、切断中に切断面が見えるような支え方をしてください。



- パワーカッターが始動したときに、ブレードがいかなる物にも接触していないことを確認します。
- 常に最高速度で切断してください。
- ゆっくりと切断を開始します。ブレードを無理やり押し込んだりせず、パワーカッターの自然な作動にまかせます。

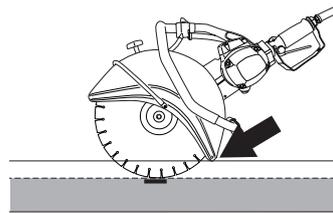
- ブレードをゆっくり前方、後方へ交互に移動しブレードと切断対象材料の間の接触部分を小さくします。これによりブレードの温度を下げ、切断効果が高まります。



- パワーカッターはブレードの線上になるように真っ直ぐに下ろします。横からの圧力はブレードが損傷を受け、非常に危険です。



- カutting装置用ガードを適切に調整して後ろ側が切断対象材料と同一平面になるようにします。ガードは切断物からの飛散物や火花が飛び散るのを妨ぎ、作業者を保護します。



警告！いかなる場合も、ブレード側面を使って切削することは避けてください。ほぼ確実にブレードが損傷を受けたり壊れたりし、重大な被害につながることもあります。Cuttingの部分だけを使用してください。

パワーカッターを片側に引っ張らないでください。ブレードが詰まったり破損して人身事故を起こす原因となります。

ブレードの振動

切断時にフィード圧を強くするとブレードは円形に歪みが生じ振動が起こることがあります。

フィード圧を弱くすると振動が止まります。それでも改善が見られない場合は、ブレードを交換してください。ブレードは必ず切断対象材料に合った推奨タイプのものを使用してください。

キックバックの避け方

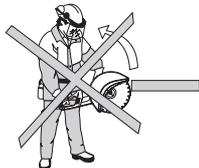


警告！キックバックは突然、強い力で起こることがあります。パワーカッターとCuttingブレードが、作業者に向かってものすごい力ではじき返されます。Cuttingブレードが動いているときに、キックバックが起こると、重傷かときには致命傷を負うことがあります。キックバックが起こる原因を理解し、正しい技術と慎重な作業で発生を避けることが非常に重要です。

安全注意事項

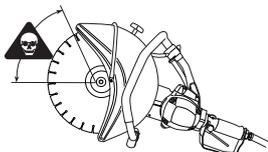
キックバックとは何か?

キックバックとはパワーカッターが突然のはじき返される現象です。キックバックゾーンと呼ばれるブレード上部四分の一が物に触れるとパワーカッターとカッティングブレードがはじき返されてしまいます。

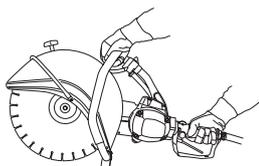


一般的な規則

- 図のように、絶対に刃先の部分(キックバックゾーン)を使って切り始めてはいけません。



- 常に、パワーカッターを両手でしっかりと握ってください。親指と4本の指で取り囲むようにしっかりハンドルを握ります。



- バランスを保ち、しっかりした足場を確保してください。
- 常に最高速度で切断してください。
- 対象物から適度に離れた位置に立ちます。
- 既存の切れ目にブレードを挿入するときは注意してください。
- 肩より高い位置で切断を行わないでください。
- 切断対象物の動きや、その他起こり得るどんなことに対しても油断をしないでください。切断面が閉じたりブレードが挟まれたりすることがあります。

プルイン

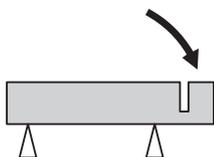
プルインは、ディスクの下の方の部分が突然停止したり切れ目が閉じたりするようになるときに、発生します。(これを避けるには、「基本的な規則」と下記の「挟み込み/回転」の項を参照してください。)

挟み込み/回転

挟み込みは切れ目が閉じるときに起こります。挟み込みが起こると、パワーカッターが、突然、非常に強い力で下方向に引っ張られることがあります。

挟み込みの避け方

切断対象物は、切断中および切断終了時に切断面が開いて見えるような支え方をしてください。



カッティングブレード



警告！カッティングブレードは炸裂し、作業者が損傷を受けることがあります。

パワーカッターの定格速度以下でカッティングブレードは使用してはいけません。

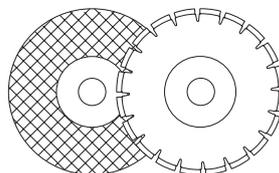
カッティングブレードを、絶対に本来の目的以外の材料に使用しないでください。



警告！ダイヤモンドブレードあるいはレスキューブレードでプラスチック材を切断すると、切断に伴って熱が発生し材料が溶け、ブレードに付着し、キックバックを起こすことがあります。

はじめに

カッティングブレードには研磨ディスクとダイヤモンドブレードの2種の基本仕様があります。



パワーカッターを運搬する時は常にカッティングブレードを外します。

パワーカッターにカッティングブレードを取り付ける軸受けが正しいものであることを確認します。「カッティングブレードの取り付け」の項の説明を参照してください。

高品質のブレードは多くの場合、最も経済的になります。低品質のブレードを使用すると切断能力が劣化し、パワーカッターの耐用年数が短くなります。その結果、切断できる材料の量を考慮するとコスト高になります。

水冷式



警告！水冷式切断は、コンクリートを切断するときに行います。これにより、ブレードを冷やし耐用年数を長く保ち、また汚れが詰まるのを防ぐ効果もあります。主な欠点には、非常に低温では使いにくいこと、床やその他の建造部分を損傷する可能性があること、滑りやすくなる危険性があることなどがあげられます。

水冷式で研磨ディスクを使用した後、ディスクを30秒間乾燥させた状態で回転します。研磨ディスクを湿気のある場所で保管すると、バランスが悪くなり、負傷の原因になります。

携帯型、高速パワーカッター

当社のカッティングブレードは高速な携帯できるパワーカッター用に作られています。他のメーカーのブレードを使う場合は、それがこの種のパワーカッターに関する規則と条件に適合しているかを確認してください。

安全注意事項

特殊ブレード

固定装置用に作られたカッティングブレードもあり、それは付属品と共に用いられます。その種のカッティングブレードは携帯できるパワーカッターに使用してはいけません。

地域の行政機関に相談して法令への準拠を守ってください。

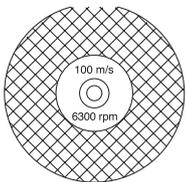
研磨ディスク

研磨ディスクの切削材質は、有機結合剤によって結合された研磨粒子で構成されています。強化されたブレードは、万一最大運転速度でブレードがひび割れたり傷がついても、全面的な破損を防ぐ布地や繊維をベースに作られています。

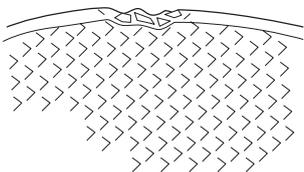
カッティングブレードの性能は研磨粒子のタイプやサイズ、ならびに結合剤の種類および硬度により決まります。

研磨ディスク、型と用途		
	使用方法	
ディスクの型	材料	水冷式
コンクリート	コンクリート、アスファルト、石材、鋳鉄、アルミニウム、銅、真鍮、電線、ゴム、樹脂など。	粉塵を軽減するために使用できます。研磨ディスクを水冷式で使用した後、乾燥した状態で約30秒間回転します。
金属	鉄、鉄合金、その他の硬質金属。	推奨しません。

ブレードがエンジンの定格銘板に記載の速度あるいはそれ以上に準拠しているか確認してください。パワーカッターよりも遅い定格速度のカッティングブレードを使用しないでください。



ブレードにいかなるヒビや破損もないことを確認してください。



研磨ディスクを指で吊り下げ、ねじ回しのようなツールで軽く叩いてください。ディスクから共鳴音が聞こえないときは、破損しています。

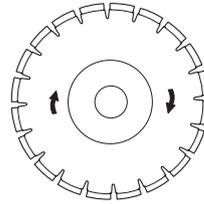


ダイヤモンドブレード

ダイヤモンドブレードは産業用ダイヤモンドを含む刃先が鋼鉄製ブレード本体に付いた構成になっています。

ダイヤモンドブレードは交換頻度が低く、一定の切断深度を保つことができ、切断操作に掛かるコストを低減することができます。

ダイヤモンドブレードを使用するときは、ブレードに印された矢印の方向に回転していることを確認してください。



常に鋭利なダイヤモンドブレードを使用してください。砂岩やれんがのような柔らかい物質を切断してブレードの目立てを行ってください。

ダイヤモンドブレードは、硬度の分類によって各種のモデルがあります。「ソフト」ダイヤモンドブレードは、耐用年数が比較的短く、切断能力は高いという特性があります。このブレードは花崗岩や硬化コンクリートのような硬度の高い材料に使用します。「ハード」ダイヤモンドブレードは、耐用年数が長く、切断能力は低いという特性を持ちます。レンガやアスファルトのような柔らかい材料に使用します。

ダイヤモンドブレードの目立て

送り圧力が適切でなかったり、強化コンクリートなどある種の材料を切削したりするときにダイヤモンドブレードの切れがわるくなる場合があります。鋭利に欠けたダイヤモンドブレードを使用するとオーバーヒートを起こし、ダイヤモンド粒子が脱落する原因になります。

砂岩やれんがのような柔らかい物質を切断してブレードの目立てを行ってください。

材料

ダイヤモンドブレードは石材、強化コンクリート、複合材料に最適です。ダイヤモンドブレードは金属の切削には推奨しません。

湿式切断用ダイヤモンドブレード



警告！湿式切断用ダイヤモンドブレードは継続的に水冷してオーバーヒートを防いでください。オーバーヒートが起こるとブレードが破損し、その破片が飛び散り、負傷の原因になります。

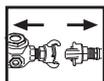
湿式切断用ダイヤモンドブレードは、切断中、ブレードの上に水をかけ、ブレードの温度を冷やします。また粉塵を固める効果もあります。

乾式切断用ダイヤモンドブレード

ドライ・ダイヤモンドブレードは、水冷を必要としない新型ブレードです。それでもブレードは過度の熱で破損することがあります。これを防ぐ経済的な方法として、切断中、30~60秒間ごとにパワーカッターを切断物から離し、空中に約10秒間回転させブレードを冷やすこともできます。

組立

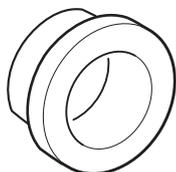
組立



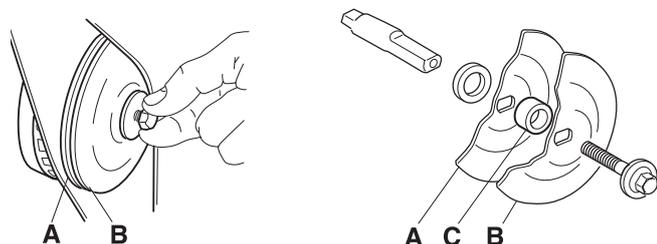
警告！清掃、組立て、メンテナンスをする前は必ずパワーカッターを圧縮空気ホースから取り外してください。

カッティングブレードの取付

パートナー社のブレードは携帯用パワーカッター用に設計されています。中央の穴の直径が異なるブレードの種類は以下の通りです。20 mm (0.787")、22.2 mm (7/8")、25.4 mm (1") の3種類があります。プッシングをパワーカッターのアクスルに取り付けて、パワーカッターをブレードの中央の穴に合わせることができます。必ず適切な直径のプッシングを使用してください。ブレードには中央の穴の直径が表記されています。



ブレードは内側フランジワッシャ (A) とフランジワッシャ (B) との間のプッシング (C) 上に乗せます。フランジワッシャを回し、軸に適合させます。



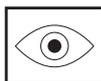
ブレードを固定するねじの締め付けトルク：15～25 Nm (130～215 in.lb)。

軸はドライバーなどをベルトガードの穴に挿入してロックすることができます。

ダイヤモンドブレードをパワーカッターに取り付けるとき、ダイヤモンドブレードが、ブレードに印された矢印の方向に回転するように注意してください。

新しいブレードに交換するときは、フランジワッシャとドライブアクスルを点検してください。「ドライブアクスルとフランジワッシャの点検」を参照してください。

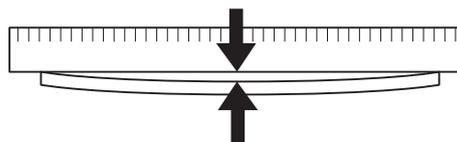
ドライブアクスルとフランジワッシャの点検



ドライブシャフトのスレッドに損傷がないことを確認します。

ブレードの接触表面とフランジワッシャに損傷がなく、寸法が正しく、きれいになっているか、またドライブアクスル上を正しく回転するか確認します。

歪んでいたり、傷や凹みがあったり、また汚れているフランジワッシャは、使用しないでください。寸法の適切でないフランジワッシャは、使用しないでください。



カッティングアーム

カッティングアームを180度回して、刃がカッティングアームの反対側にくるようにすることができます。こうすると、壁や床などの対象物に近づいて切れます。カッティングアームとドライブベルトはドライブベルトを交換したときに同じ向きに開放されます。「ドライブベルトの交換」を参照してください。

ガードの固定ネジと水ホースを緩めます。

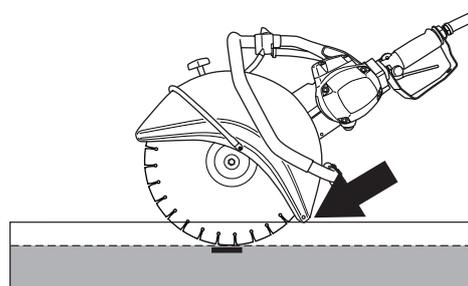
アームを180度回して、該当する部品交換し、取り付けられていた状態と同じようにネジを締めます。

ダイヤモンドブレードを使用している場合は、それを回して正しい方向に回転するようにしてください。ダイヤモンドブレードは、必ずブレードにある矢印の方向に回してください。

ブレード用ガード

ガードを必ずパワーカッターに取り付けてください。

カッティング装置用ガードを適切に調整して、後ろ側が切断対象材料と同一平面上になるようにします。ガードは切断物からの飛散物や火花を収集し、作業者を保護します。



始動と停止

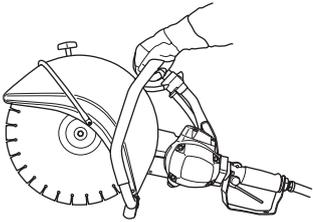
始動と停止



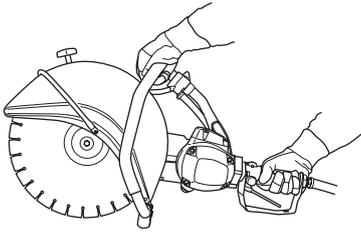
警告！始動する前に以下のことに注意してください。
足場が安定し、カッティングブレードに接触するものが一切ないことを確認してください。
作業場所に動物や見物人を近づけないようにしてください。

始動

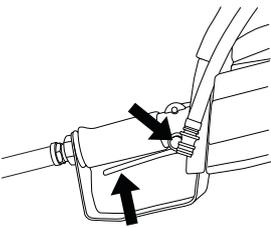
- 左手でフロントハンドルを握ります。



- 右手でリヤハンドルを握ります。

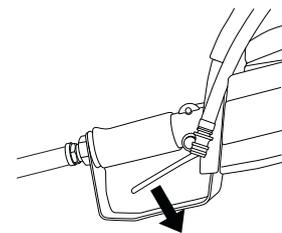


- 右手の親指でスイッチロックを押し、スイッチを押します。



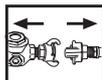
停止

パワーカッターはスイッチを開放すると停止します。



メンテナンス

メンテナンス

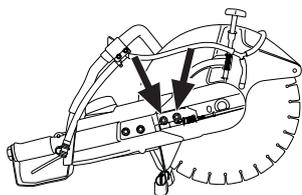


警告！ パワーカッターの点検やメンテナンスを行なう前には必ず圧縮空気ホースを取り外してください。

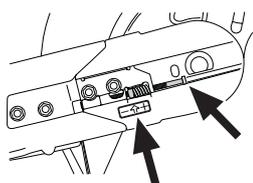
ドライブベルトの張り具合

ドライブベルトは完全密閉され、ホコリや汚れから効果的に保護されています。

ドライブベルトの張りをするには、カッティングアームを固定するナットを緩めます。



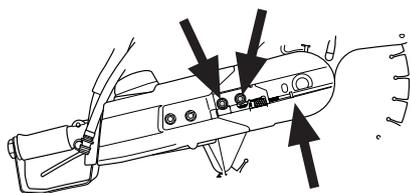
調節ネジを回し、角頭ナットがカバーの表記と反対側にくるようにします。これはベルトが自動的に正しい張力を持つようにするためです。



カッティングアームを固定する2本のナットを締めます。

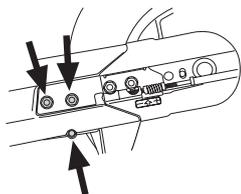
ドライブベルトの交換

最初にナット2本を緩め、次に調節ネジを緩め、ベルトの張りを緩めます。



ナットを緩めてフロントベルトガードを外します。

これでカッティングヘッドが緩み、パワーカッターから取り外すことができます。ガードを固定しているネジ3本を緩めて後部のベルトガードを取り外します。

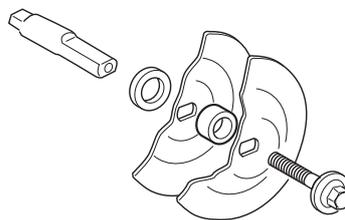


古いベルトを外して新しいものを取り付けます。カッティングアームをパワーカッターに取り付け、ネジを調整してベルトを張ります。新しいドライブベルトは、約30分稼働した後に再度張り直してください。

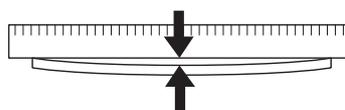
ドライブアックスとフランジワッシャの点検

ドライブシャフトのスレッドに損傷がないことを確認します。

ブレードの接触表面とフランジワッシャに損傷がなく、寸法が正しく、きれいになっているか、またドライブアックス上を正しく回転するか確認します。

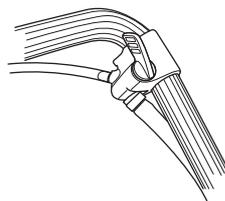


歪んでいたたり、傷や凹みがあったり、また汚れているフランジワッシャは、使用しないでください。寸法の適切でないフランジワッシャは、使用しないでください。

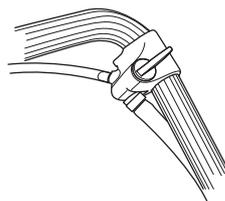


水冷式

給水栓が正しく機能しているか確認します。給水栓を開くには、給水栓を開く位置に回します。

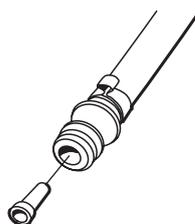


給水を止めるには、栓を閉まる位置に回します。



浄水器

フィルタをチェックして、必要に応じて掃除します。



メンテナンス

毎日行うメンテナンス

パワーカッターを使用する前には、以下の事項を毎日点検してください。

- 1 ナットおよびねじが確実に締められているかどうかを確認する。
- 2 圧縮空気ホースが正常に機能し、良い状態であるか確認する。
- 3 電源を入れ、パワーカッターのリアハンドルのスイッチを入れてパワーカッターが正しく機能するか確認する。スイッチを開放したときに刃が止まることを確認する。
- 4 ブレードガードの点検
- 5 カuttingブレードの状態を点検する。
- 6 ドライブベルトの張り具合を点検します。
- 7 使用するコンプレッサが正確な空気圧(0.7MPa)と空気量(K40は2.8~3.5 m³/分、K30は2.0~2.4 m³/分)を供給できることを確認する。
- 8 最低3/4インチ(19mm)の圧縮空気ホースを使用する。
- 9 ホースはパワーカッターに接続する前に汚れや湿気を空気で飛ばしてください。
- 10 圧縮空気ホースをパワーカッターに接続してカップリングを固定します。空気圧を入れ、漏れがないことを確認する。
- 11 パワーカッターを使用する前に、空気供給を止め、圧力を開放する。オイルコンテナが空気圧機用のいっぱいになることを確認する。オイルディスペンサー容器を使用しない場合は、圧縮空気ホースに直接少量のオイルを流します。その後、パワーカッターのモーターを始動させると、オイルがモーターを経由して給油できます。
- 12 湿分分離器付きのコンプレッサを使用する。
- 13 水調整コントロールを点検する。
- 14 浄水器の機能を確認する。

モーターの修理は高価になることもあります。

以下が原因でモーターの不良が発生することがあります。

- 1 オイルディスペンサー容器を使用せずにパワーカッターを使用する。
- 2 ホース、コンプレッサタンク、バルブなどの結露が原因で空気の供給に結露水が入る。結露がモーター内部に入ると、金属部分のさびの原因となります。
- 3 圧縮空気ホースや空気圧カップリングが汚れている。
- 4 空気システムの汚れ。少量のオイルをホース内部に流し、パワーカッターを始動させると、オイルがモーターを経由して掃除します。オイルが湿気をすべて取り出し、モーター部分を保護します。空気圧機用のオイルを使用すること。正しいオイルについては販売店にお問い合わせください。

エンジンオイルや油圧オイルは使用しないでください。



主要諸元

技術データ	K30	K40
エンジン		
空気消費量、m ³ /分	2.0~2.4	2.8~3.5
最大空気圧、bar	7	7
推奨圧縮空気ホース寸法、インチ/mm	3/4 / 19	3/4 / 19
吸気寸法、インチ/mm	3/4 / 19	3/4 / NPT hona
駆動システム、Vベルト	SPZ	SPZ
出力シャフト最高速度 (rpm)	5100	5400
重量		
カッティングブレード取外時パワーカッター (kg)	8.7	9.9
潤滑油	凍結防止空気圧ツールオイル	凍結防止空気圧ツールオイル
音量レベル		
使用者聴覚での騒音圧力レベル、最高速度、ISO/DIS 15744、ISO/DIS 11201、dB (A) に準じて測定	89	92
騒音レベル		
(注記1参照)		
実測音響レベル dB(A)	106	107
保証音響レベル L _{WA} dB(A)	106	107
振動レベル		
(注記2参照)		
フロントハンドル、m/s ²	7.2	9.5
リヤハンドル、m/s ²	3.8	5.2

注1：EC 指令 2000/14/EC に則し音響効果 (L_{WA}) として測定した、環境への騒音排出量。

注2：ハンドルの振動は、ISO 8662-4に準じて測定。

ガイドバーとチェン

カッティングブレード	最高周縁速度、(m/s)
12" (300 mm)	80
14" (350 mm)	100

EC適合宣言

(ヨーロッパのみに適用)

Husqvarna Construction Products、SE-433 81 Partille、スウェーデン、電話番号：+46-31-949000 は、単独責任のもとで宣言します。2006年のシリアル番号以後 (年は、銘板に連続したシリアル番号と一緒に明記されています。) のパワーカッター **Husqvarna K30,40** は、評議会指令(COUNCIL'S DIRECTIVES) の規定に適合しています。

1998年6月22日付け「機械類に関する」**98/37/EC**、付録IIA。

2000年5月8日付け「環境への騒音排出に関する」**2000/14/EC**。

騒音排出に関する詳細は「主要諸元」を参照してください。

次の標準規格にも適合しています：EN ISO 12100:2003、EN 983、EN 792-7、EN ISO 19432

SMP Svensk Maskinprovning AB 社(Fyrisborgsgatan 3、SE-754 50 ウブサラ、スウェーデン)が Husqvarna AB の代わりに任意のタイプ認定を行ないました。証明書番号：**01/169/007**- Husqvarna K30、**01/169/008** - Husqvarna K40

Partille 2006年11月14日



Ove Donnerdal、開発マネージャ

1150296-79



2006-12-20